

理想の町づくりとは？

3年3組6番 井上結月
3年3組8番 江藤七楓
3年3組13番 河本二葉
3年3組31番 西開千夏

Keyword: 「町づくり」「バリアフリー」「海」「SDGs」

1. はじめに

スタディーツアーで内灘海水浴場に行った際に車で砂浜まで出ることができるのを見て、これなら下半身が不自由な方も海を最大限まで楽しむことができるのではないかと考えた。

一方で、海沿いには大きいものから小さいものまで様々なゴミが落ちており、砂浜まで車で行けたとしても景観的な面で十分に楽しめないという課題もあった。

そこで、海沿いの地域を誰でも過ごしやすくバリアフリーな海のある観光地にするためにどのようなことすべきかを探究すべく「理想の町づくり」を探究テーマとして掲げた。

2. 序論

様々なハンデを抱えた人達でも、訪れたいと思える海辺の環境づくりをする事が目的である。さらに、SDGs14番目の「海の豊かさを守ろう」という目標も加味して、より理想的な海を目指したい。

先行研究は二つの方法で行った。

一つ目は、文献調査である。当時、関西大学工学部土木工学科の教授であった井上雅夫と、株式会社竹中土木の紺屋満による「海水浴場のバリアフリーに関する現地調査 ―ユニバーサルビーチの創造を目指して―」(2001)という論文では、10種類の項目(障害者専用の駐車場、休憩所、トイレ、更衣室、シャワー、スロープの設置状況、ランディーズ(海水浴専用の車椅子)、ライフジャケットの整備状況、ライフセイビング体制や、広報活動、諸施設の利用料)に分けて7箇所での現地調査を行っている。

また、参考資料としてSurfrider Foundation Japanによる「海辺のゴミ箱問題」と日本財団による「海洋ごみ対策と海のゴミ箱Seabin」を使用した。

二つ目は、現地調査である。スタディーツアーで訪れた石川県にある内灘海水浴場で、海周辺のゴミの散乱状況とバリアフリー設備状況を調査した。

3. 本論

文献のまとめとしては、バリアフリーの観点において完璧と呼べる海は無く、どこも一長一短であった。井上・紺屋の論文から20年もの月日が経ったが、バリアフリーの設備状況の大きな変化は見られない。日常生活であまり利用しない場所であるため、駅や道路等公共施設よりも開発が遅れているのではないかと考えた。

次に現地調査で確認した海周辺のゴミの散乱状況とバリアフリー設備状況の結果としては、下半身が不自由でない方でも危ないと思われるような大きなゴミが多く見られた。車両での海付近までの出入りが可能であったが、大きく目立つごみが見られた結果により今後の車での出入りが難しくなっていくのではないかと予想できる。



現地調査で訪れた内灘海水浴場で撮影

また、景観的な面でも十分に楽しめるものとは言えないように感じた。改善策として、まずゴミ箱を設置しようと考えたが、先行研究によるとゴミ箱を設置したことにより家庭ごみ等も廃棄する者が増え、設置前よりもゴミの数が増えるというケースが見られたため、ゴミ箱を設置することによる改善は見込めないと思われる。



Surfrider Foundation Japan 「海辺のゴミ箱問題」より引用

そのため、海の近辺にある学校の生徒に定期的なゴミ拾いのボランティア活動を依頼することで、砂浜を綺麗にするとともに、海洋ゴミ問題への理解を深めてもらう事が出来れば、継続的な改善が見込める。

バリアフリー設備状況については、トイレにはスロープが付いており、盲導犬の受け入れも許可しており、序論で述べた先行研究でバリアフリーの基準とされていた10項目のうち6項目を十分に満たしていると言える。現地調査を行ったのが秋だったため、ライフジャケットの整備やライフセイビング体制についての正確な調査はできなかった。改善点としては、調査した範囲内ではバリアフリーマップ(車椅子等でも安全に通行できる障害物が少ないルートを示した地図)が見当たらなかったため、あるとより良いと思う。

4. 結論

探究活動のまとめとしては、現地に行って調査出来た事例が少なく、十分な情報を得られなかった部分もあるが、まだまだ海洋ゴミ問題やバリアフリーマップ等足りていない部分もある。これからの課題として、もっと多くの場所で現地調査を行ったり、その場所のバリアフリーマップを制作したいと思う。

5. おわりに

奈良県在住で、あまり海のバリアフリーについて考えたことは無かったので、知らない事ばかりで新鮮だった。この探究活動を通して海についてもバリアフリーについても以前より意識するようになった。

6. 参考文献

井上雅夫・紺屋満(2001)「海水浴場のバリアフリーに関する現地調査 ―ユニバーサルビーチの創造を目指して―」<https://doi.org/10.2208/proce1989.48.1341> (閲覧日: 2024年 11月 15日)

SFJ代表 中川淳 (2019)「海辺のゴミ問題」Surfrider Foundation Japan
<https://www.surfrider.jp/column/4764/> (閲覧日: 2024年 11月 15日)

「海洋ごみ対策と海のゴミ箱Seabin」日本財団<https://seabin.co.jp> (閲覧日: 2024年 11月 15日)

「内灘駅周辺整備事業基本構想」内灘町
<https://www.town.uchinada.lg.jp/uploaded/attachment/4106.pdf> (閲覧日: 2024年 11月 15日)

「須磨ユニバーサルビーチプロジェクト ―みんなの「できない」を「できた!」に変える。―」NPO法人 <https://sumauniversalbeach.com/support/index.html#link01> (閲覧日: 2024年 11月 15日)